

1-6●新堀川 ～シオマネキに会いたい～

1. 昔は ここに 川が流れていたと
町の おじいさんが 教えて くれた
今では 車が 走り抜ける道の下に
閉じ込め られて しまった 思い出 があると

川に映る アオギリの木影
ひな壇のような 雁木を降りて
引き潮の川辺で見つけた
シオマネキの 紅くて大きな
ハサミかざしたダンス ああ

ごめんね あの景色 守ってやれなくて
ごめんね 君たちに 残 してやれ なくて ああ

2. そう言って おじいさんは 曇り空を見上げて
大きなため息ついてまた 話を してくれた

川のほとり イチジクの小路
秋あかねトンボの ランデブー
満ち潮の川面の 夕焼け
映る満月に 魚が跳ねて
ふいに揺れる街灯り ああ

ごめんね あの景色 守ってやれなくて
ごめんね 君たちに 残 してやれ なくて ああ

だけどね もう少し 頑張っ て みるからね
だからね 君たちも 何 かをして ほしい ああ

3. そう言って 握手した 力強く握手をした
ほんとにシオマネキのダンスが 見たいと 思った
町のおじいさんと 同じ 思いになった
同じ 思いになった